

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 学校法人中村英数学園

1. 事業名称

東南アジア等非漢字語圏などの外国人を対象にした、定住のための日本語学習支援及び学習教材の開発

2. 事業の目的

九州はアジアの玄関口として、アジア諸国からの外国人の来日が増加している。昨今、特に東南アジアから来日し定住する外国人が目立つ。そこで当事業によって、東南アジア等非漢字語圏から来日した生活者が、日本での社会生活をスムーズに送れるように支援するのが当事業の目的である。

3. 事業内容の概要

当事業では、東南アジア等非漢字語圏の外国人などが日本語に馴染みやすいように工夫した教材を開発するとともに、福岡を中心とした九州での生活がスムーズにできるように、地域の生活・文化などの情報を盛り込んだ日本語教室を実施する。また実際に福岡の街に出て行政機関の利用法・公共交通機関の乗り方・金融機関の利用法など生活に根差した基礎知識を教授する実習を実施する。そうすることで、東南アジア等非漢字語圏の外国人などが日本社会に入り易くなり、日本での社会生活がスムーズに送れるようになる。また日本語教師の教育については、東南アジア等非漢字語圏の外国人を対象にした教育方法の教授・共有だけでなく、東南アジアとのビジネスを行っている実業家の講師を招き、東南アジアの概要や人々の民族性などについても理解することで、日本語教室の実施をよりスムーズに行えるようにする。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年9月26日 14:00~16:30	2時間30分	九州英数学館	柴田俊造、白土悟、大塚佐織、田中旬一、中村登、大橋時世	事業概要確認、事業全体計画の確認	第1~7回教材開発委員会からの報告事項を確認し、提案事項について討議・承認。日本語教室・人材育成研修の運営、日本語教材製作・受講生募集についての意見交換。
2	平成25年10月18日 14:00~16:30	2時間30分	九州英数学館	柴田俊造、松尾順子、田中旬一、中村登、大橋時世	事業の進行状況報告、各事業内容の変更・指摘事項についての討議・意見交換	第1回運営委員会での助言・指摘事項の事業への反映状況を確認。第8・9回教材開発委員会からの報告事項を確認し、提案事項についての討議・承認。日本語教室の現状、教材製作状況等について報告・意見交換。
3	平成25年11月8日 10:00~12:30	2時間30分	九州英数学館	柴田俊造、白土悟、松尾順子、田中旬一、中村登、大橋時世	事業の進行状況報告、各事業内容の変更・指摘事項についての討議・意見交換	日本語教室の実施状況の報告。今後の課題等について意見を集約・対応を検討。第10~12回教材開発会議からの報告事項の確認、提案事項について討議・承認。人材養成・研修の講師変更について報告・承認。
4	平成25年12月19日 17:00~19:30	2時間30分	九州英数学館	大塚佐織、田中旬一、中村登	事業概要、事業内容について(事業途中経過の確認)、その他国際交流事業について情報共有・意見交換	中村氏より、過去2回、運営委員会に出席できなかった大塚氏に当事業の経過報告。外国人が日本人社会に入っていく過程で問題となる点などについて意見交換。互いの文化を尊重しあうことの重要性等を確認。

5	平成26年1月17日 10:00~12:30	2時間30分	九州英数学館	柴田俊造、白土悟、松尾順子、田中匂一、中村登、大橋時世	事業概要、事業の進行状況報告。各事業内容の改善点等について討議・意見交換。	各事業取組の状況報告。日本語教室第1~10回、人材育成第1~5回までの受講生アンケート結果を基にこれまでの成果・改善点等について討議。特に次回実施に向けての反省・改善点につき時間を割いて意見交換。
---	---------------------------	--------	--------	-----------------------------	---------------------------------------	--

5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称

東南アジア等非漢字語圏から来日した外国人などのため、日本での社会生活がスムーズに送れるように支援する日本語教室

(2) 目的・目標

東南アジア等非漢字語圏から来日した外国人などが、日本での社会生活をスムーズに送れるようになること

(3) 対象者 東南アジア等非漢字語圏から来日した外国人など

(4) 開催時間数(回数) 50 時間 (全 25 回)

(5) 使用した教材・リソース

自作教材、文化庁「標準的なカリキュラム案 教材例集」

(6) 受講者の総数 17 人

(出身・国籍別内訳 台湾人4人、インドネシア人3人、中国人2人、アルゼンチン人2人、ブラジル人1人、ベトナム人1人、イタリア人1人、フィリピン人1人、イラン人1人、キューバ人1人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名
1	平成25年10月9日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	10人	中国人(1人)、ブラジル人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(4人)、ベトナム人(1人)、インドネシア人(1人)、フィリピン人(1人)	オリエンテーション、自己紹介、第1課「日本人と交流するための自己紹介」	オリエンテーションとして、講座の趣旨・内容等を説明。第1課「日本人と交流するための自己紹介」に入る。会話導入、語彙、ロールプレイの実施。各受講生の日本語習熟度を確認。	松尾順子
2	平成25年10月10日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	8人	中国人(1人)、ブラジル人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(3人)、インドネシア人(1人)、フィリピン人(1人)	第2課「道をたずねる」	「道をたずねる」シチュエーションでの会話を2人1組で練習し、うち2組が発表。「～らしい」「～なら」の使い方。博多の方言コーナー等実施。	田中久美子
3	平成25年10月16日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	10人	中国人(1人)、アルゼンチン人(2人)、台湾人(3人)、イタリア人(1人)、インドネシア人(3人)、	第3課「福岡のゴミ分別」	初めて参加する3人の自己紹介。テキストに従って会話練習。福岡のゴミの出し方・分別ルール等を学習。参加者によってレベルに変化が生じる。	松尾順子
4	平成25年10月17日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	10人	中国人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(4人)、インドネシア人(3人)、イタリア人(1人)	第4課「診察・病院と薬局」	福岡の病院で、自分の症状を説明するために必要な表現を学習。ジェスチャーも交えて会話練習。ペアを組んでの練習において、受講生同士で教えあう姿が見られた。	田中久美子
5	平成25年10月23日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	10人	中国人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(4人)、インドネシア人(3人)、イラン人(1人)	第5課「お見舞い・退院」	福岡の病院を想定して、面会時間等のルールやマナーを学習。実際の生活で解らない日本語について質問してもらった。自主作成漢字教材の利用法を、習熟度・国籍によって変えてみた。	松尾順子

6	平成25年10月30日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	8人	中国人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(3人)、フィリピン人(1人)、イラン人(1人)、キューバ人(1人)	第6課「救急車」	導入部分で、パトカー、消防車、救急車のサイレン音を聴き比べ。各国の車両デザインやサイレン音についても発表があった。受講生から積極的に質問が出るように工夫した。	松尾順子
7	平成25年11月6日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	8人	中国人(2人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(1人)、フィリピン人(1人)、イタリア人(1人)、インドネシア人(1人)、ブラジル人(1人)	第7課「防災教育」	福岡西方沖地震の新聞記事を紹介。緊急地震速報の音声を聴いてもらった。漢字の練習用にカードを作成。写真とカードを組み合わせてもらう方法を取った。	松尾順子
8	平成25年11月7日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	6人	アルゼンチン人(1人)、台湾人(3人)、インドネシア人(1人)、ブラジル人(1人)	実習①「防災センターへ」	福岡市民防災センターにて体験ツアー。センターの往復でバス・地下鉄を利用し時刻表の見方等も学習。センターでは実際に消火器を使用したり、避難シュミレーションに参加したりした。	田中久美子
9	平成25年11月13日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	6人	中国人(1人)、ブラジル人(1人)、台湾人(2人)、インドネシア人(1人)、フィリピン人(1人)	第8課「福岡の銀行について」	日本(福岡)での預貯金管理をはじめ、金融機関で必要となる手続き等を学習。実際の口座申込書などを使って語彙や表現について学習した。授業終了後には数名と個別レッスンも行った。	松尾順子
10	平成25年11月14日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	2人	中国人(1人)、台湾人(1人)	実習②「銀行と郵便局へ」	参加者は2名。前日の講義を欠席した2名だったため、教室で第8課のテキストを学習してから実習へ。西日本シティ銀行と郵便局に向き、記帳や出金を行い、口座開設についても説明を受けた。	田中久美子
11	平成25年11月20日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	6人	中国人(2人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(2人)、ブラジル人(1人)	第9課「レストラン」	福岡のレストランで想定される会話や用語などを学習。外食は少ないが、今後日本人との交流に役立つという受講生が多かった。ロールプレイでは和食・洋食・中華に分けて注文する練習をした。	松尾順子
12	平成25年11月27日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	4人	中国人(1人)、ブラジル人(1人)、台湾人(1人)、キューバ人(1人)	第10課「福岡の図書館」	福岡の図書館で登録カードを作り、本を借りる設定で会話練習。「～(ら)れる」「～していただく」といった表現を学習。図書館でCDやDVDも借りることができることを案内。	松尾順子
13	平成25年11月28日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	2人	台湾人(1人)、インドネシア人(1人)	実習③「図書館へ」	第10課のテキストで20分程予習。福岡市早良区の福岡市総合図書館に移動。実際に図書カードを作成したり、DVDライブラリーを見学し、今後自分で利用できるように指導した。	田中久美子
14	平成25年12月4日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	5人	中国人(2人)、アルゼンチン人(1人)、インドネシア人(1人)、ブラジル人(1人)	第11課「日本式電話のかけ方」	「もしもし」など電話での会話の特色や、折返し電話についての投掛けなどを会話形式で学習。表現では、特に敬語を学習。謙譲語と尊敬語の使い分けなど。	松尾順子
15	平成25年12月5日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	4人	中国人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(1人)、インドネシア人(1人)	第12課「スーパー」	各国のスーパー事情などについて話をしてもらった。テキスト内容では、特に「1パック、2パック」「8割引き」といったスーパーでよく目にする言葉について学習。	田中久美子

16	平成25年12月11日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	5人	中国人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(1人)、フィリピン人(1人)	第13課「コンビニ」	質問タイムでは、流行語大賞の「じぇじぇ」「おもてなし」についての質問あり。コンビニを利用する目的などを話してもらった。会話練習では、公共料金支払いや銀行ATMの利用についても触れた。	松尾順子
17	平成25年12月18日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	3人	中国人(2人)、アルゼンチン人(1人)	第14課「買い物」	テキスト本文について、店員とお客さんに分かれて練習。靴屋の設定でサイズ表記の違いや消費税についても学習。漢字学習は漢字語圏と非漢字語圏の受講生に分かれて学習。	松尾順子
18	平成25年12月19日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	0人	参加者無し	実習④「スーパー、コンビニ、デパートへ」	参加者無し。	田中久美子
19	平成26年1月8日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	3人	中国人(2人)、ブラジル人(1人)	第15課「福岡の不動産屋」	賃貸物件を探し、物件を見せてもらう、という設定で会話練習。敷金や契約時の保証人のことについても説明。間取り図を使って、条件表記の見方も学習。	松尾順子
20	平成26年1月15日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	5人	中国人(2人)、ブラジル人(1人)、台湾人(2人)	第16課「福岡の乗り物」	会話練習では駅で目的地までの行き方を尋ねる設定でロールプレイ。講師、受講生の福岡近郊のお勧めスポットを紹介し、そこまでの行き方を説明しあった。	松尾順子
21	平成26年1月16日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	0人	参加者無し	実習⑤「地下鉄・バスなど」	参加者無し。	田中久美子
22	平成26年1月22日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	8人	中国人(2人)、ブラジル人(1人)、台湾人(2人)、インドネシア人(2人)、フィリピン人(1人)	第17課「日本の結婚式・葬式」	日本の結婚式と葬式における服装の違いや、結婚式の招待状の返事の出し方、御祝儀などにつき細かく学習。各国の違いなども発表し合った。	松尾順子
23	平成26年1月29日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	4人	中国人(1人)、台湾人(1人)、ブラジル人(1人)、フィリピン人(1人)	第18課「面接」	ビジネス日本語の分からない点につき質問してもらい、テキスト本文へ。面接を想定してロールプレイ。日本の雇用システムについても紹介した。	松尾順子
24	平成26年1月30日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	3人	アルゼンチン人(1人)、台湾人(1人)、フィリピン人(1人)	第19課「意見の主張と謝罪」	「～しましょう!」～と「～です」「～たらどうですか」などの表現を学習。テキスト本文の犬猫の処分について学習した表現を意識しながら会話練習。日本人が多用する「すみません」について。	田中久美子
25	平成26年2月5日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	5人	中国人(1人)、アルゼンチン人(1人)、台湾人(1人)、ブラジル人(1人)、フィリピン人(1人)	第20課「わからないことをきく・トラブル回避」	日本人特有の曖昧な表現や、相手を傷つけたり、怒らせないように質問・回答のしかたなどにつき学習。改めて、日本に来て困ったことなどについて発表し合い会話練習。	松尾順子

(8) 受講者の募集方法

広報用のチラシを1500部作成。チラシには英語とベトナム語による表記も行い、幅広い国籍の外国人に受け入れられるようにした。福岡県内の日本語学校、各種専門学校、大学、NPO・ボランティア団体等、65ヶ所に事業案内とともに送付。また、公益財団法人福岡国際交流協会、公益財団法人太宰府市国際交流協会、公益財団法人福岡県国際交流センター、九州大学、福岡大学、福岡国際大学、近隣区役所等十数ヶ所には、中核メンバー・九州英数学館職員等が訪問し案内、協力要請を行った。加えて、運営委員・柴田俊造先生のご紹介により、台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処(台湾領事館)へも訪問、領事館ウェブサイトにて中国語表記でも案内していただき、中華圏の外国人の参加者が増えるきっかけとなった。

配布チラシ



(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

◇平成25年10月30日<第6課 救急車>

講師 松尾順子

- まず受講生に名札を配る。遅れて出席する受講生のために教室入口に名札と今回までのテキストを設置してある。
- 黒板に救急車と消防車の写真を貼り、それぞれのサイレン音が流された。受講生それぞれの国での救急車両のデザインやサイレン音、連絡番号等について発表し合った。
- テキスト冒頭のシチュエーション形式の会話文を、講師が朗読。続いて会話文中に出てくる単語の説明。同じく文法の解説。
- 学んだ文法・表現方法について、テキストの練習問題を解いてもらう。講師が各受講生を回り、解答の手助け。
- 別途準備している漢字学習用のテキストで、漢字の学習。国籍・習熟度に応じて練習内容が異なる。漢字への認識が薄い受講生は、象形文字を利用して認識度を高めてもらう。漢字を理解できている受講生は、書き順や、その漢字を含んだ単語について学習をする。



講義を通して、講師から受講生への会話の投掛けが意識的に行われ、受講生同士の会話も活発になりつつある。漢字の認識度はもちろん、日本語の習熟度にも差があるために、孤立する受講生をつくらぬような工夫が随所にみられる。

講義後のアンケートでも、出席者8名中7名が「よかった」と回答。1名は「普通」という結果であった。

◇平成25年11月7日〈実習①防災センターへ〉

講師 田中久美子

- ・教室にて第7課「防災教育」についての復習。
- ・学校最寄りのバス停まで徒歩で移動し、バス停では、時刻表の見方などについて学習。バスに乗り、「福岡市民防災センター」まで移動。
- ・予約した体験ツアー開始までの間、館内の展示物を活用して、非常用バッグや各国の消防服などについて学習。
- ・インストラクターの方に従いツアー開始。消火器の使い方、消火のコツなどを実践で学習。地震体験については装置の故障で体験できなかったが、被災時の注意点などについて説明を受けた。その後、強風体験や非常口サインに従って避難をする訓練等を受けて、ツアー終了。
- ・帰路には福岡市営地下鉄を利用し学校に戻った。



実際に消火器による消火を体験したり、実態に近い避難シュミレーションを体験するなど、学習効果は大変高いものとなった。また、福岡の公共交通機関である、西鉄バス、市営地下鉄を実際に利用することもでき、なによりも受講生同士の距離が急速に縮まり、以後の教室運営にも良い影響をもたらした。

講義後のアンケートでも、参加者全員が「よかった」「分かった」と回答している。(6名中2名未記入)

(10) 目標の達成状況・成果

クラスの構成として非漢字語圏の方と漢字語圏の方が半々になっており、日本語の習熟度にも差があったが、結果として各々の得意分野を受講生同士でフォローし合うような形が自然とできあがり、交流も深まった。毎回の講義後に、事業目標の達成状況・成果確認のためアンケートに答えてもらった。アンケートの実施により、受講生の満足度や習熟度を測るとともに、講義の運営方法についても随時工夫を重ねていったため、講師・受講生がともに成長していったと思う。回数を重ね、実習を行う等した結果、受講生同士の親密度も高まり福岡で生活していくうえでの「仲間」を創ることができたのが、最も大きな成果ではないかと考えている。ここで得た仲間は日本人の友人を多く作り、福岡での生活をスムーズに行う上で大きな財産になるはずである。日常生活をテーマとしたテキスト構成や教室運営についても受講生からは高い評価を得ており、事業所としては初めての試みであったが、十分な成果とともに、今後の展開への大きな手応えを感じている。

(11) 改善点について

受講生を募集した段階では25名程の応募があったが、一度も出席しなかったり出席回数が少ない受講生も多く、クラスは毎回10人前後で固定されていった。仕事の関係等で思うように出席できなかった受講生もいたが、申込み段階の意思の疎通がうまくいかず参加しなかった申込み者もいた。早期に対応を図り個別に連絡を取るなどしたため、途中から参加した方もいたものの後手に回ってしまった。事前にこのような事態も想定し事務局としての対応を確立しておくべきであったと反省している。次回同様の事業を実施する際には、受付窓口としての人員の確保や申込受付時のマニュアル作成等を行い改善していきたい。また、講義が始まってからは受講生の日本語習熟度に差が大きく、それぞれの受講生に満足してもらえる内容とするために大変な苦勞をした。今後、同様の講座を開催するならば、申込時に面談等を行い、習熟度に応じて対応する必要もあると感じている。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

東南アジア等非漢字語圏の外国人などの文化的背景等理解

(2) 目的・目標

東南アジア等非漢字語圏から来日された外国人などの日本語教育がスムーズにいくようにするため、文化・宗教等背景を勉強し理解すること

(3) 対象者

福岡在住の日本語教師、日本語教育に興味を持つ方など

(4) 開催時間数(回数) 20 時間 (全 10 回)

(5) 使用した教材・リソース

各講師のオリジナルレジュメ

(6) 受講者の総数 40 人

(出身・国籍別内訳 日本人36人、中国人3人、台湾人1人)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年11月8日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	19人	日本人(18人) 台湾人(1人)	福岡の日本語教室の状況について	福岡市早良区高取公民館における週2回の日本語教室の、特にボランティアによる無料運営について。		高校校区国際交流推進委員会 会長 田中秀次氏
2	平成25年11月15日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	24人	日本人(21人) 中国人(3人)	東南アジア、主にASEAN地域の文化紹介	出身国であるインドネシアと日本との文化の違いや、インドネシア語の発音、教えるときの工夫など。		PTネティカインドネシア取締役 シボロ・アーノルド氏
3	平成25年11月22日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	20人	日本人(19人) 中国人(1人)	東南アジアの教育、生活、宗教事情	ビジネスの観点からみた、インドネシアの生活習慣や慣習などについて。		PTネティカインドネシア代表取締役 小玉修市氏
4	平成25年11月29日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	16人	日本人(14人) 中国人(2人)	地域に根差した国際交流について	大野城市民によるボランティア団体である大野城市国際交流協会での活動や、外国人の医療・保険の実態について。		桑野外科医院 桑野建治氏
5	平成25年12月6日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	14人	日本人(13人) 中国人(1人)	外国における日本語教育について	海外の日本語教育の現状。特に中国遼寧省及び大連市における日本語教育について。		九州英数学館国際言語学院 副校長 于東振氏
6	平成25年12月13日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	11人	日本人(11人)	東南アジアにおける日本語教育について	財団法人国際学友会日本語教育講師としての実体験。日本語教育の変遷、日本語教師としての資質について。		財団法人日本語教育振興協会 評議員 柴田俊造氏
7	平成25年12月20日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	18人	日本人(17人) 中国人(1人)	日本とベトナムの関係、ベトナムという国について	ベトナムの歴史や文化について。近年、九州・福岡で急増しているベトナム・ネパールからの留学生事情について。		九州英数学館国際言語学院 非常勤講師 松尾順子氏
8	平成26年1月10日 14:00~16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	15人	日本人(15人)	外国人の異文化理解教育の課題について	国際的拠点都市の形成や、その役割。福岡市の取組。在日外国人に求められる支援や、問題解決のため必要とされるスキルについて。		九州大学留学生センター准教授 白土悟氏

9	平成26年1月17日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	18人	日本人(17人) 中国人(1人)	ベトナム語の歴史・ベトナム語の特徴	ベトナム語の歴史と、その特徴について。特に日本人には困難な発音につき詳細な解説と指導方法のコツを紹介。	九州英数学館国際言語学院 非常勤講師 松尾順子氏
10	平成26年1月24日 14:00～16:10 (休憩10分)	2時間	九州英数学館	9人	日本人(9人)	ボランティア日本語教育についてのありかた	30年近く複数の「日本語教室」を通し国際交流・外国人の生活支援を続けてきた講師による「多文化共生社会」という考え方について。	小さな国際交流の会 代表 野口照代氏

(8) 受講者の募集方法

広報用のチラシを100部作成。福岡県内の日本語学校、各種専門学校、大学、NPO・ボランティア団体等、65ヶ所に事業案内とともに送付。また、公益財団法人福岡国際交流協会、公益財団法人太宰府市国際交流協会、公益財団法人福岡県国際交流センター、九州大学、福岡大学、福岡国際大学、近隣区役所等十数ヶ所には、中核メンバー・九州英数学館職員等が訪問し案内、協力要請を行った。加えて、有限会社大谷書店のウェブサイトにてご紹介いただいた。

配布チラシ

文化庁事業 日本語教育を行う人材の養成・研修

最新東南アジア事情 ～文化事情と日本語教育の現状～

受講料 無料!

九州はアジアの玄関口として、アジア諸国から外国人の来日が増加しています。そこで当事業によって、東南アジア等非漢字語圏から来日した生活者が、日本での社会生活をスムーズに送れるように支援するための研修を行います。



- ◆ 内容: 東南アジア事情に興味のある企業関係者、日本語教師を対象にした研修(一般の方も参加できます)
- ◆ 日 時: 2013年11月8日(金)～2014年1月24日(金)
- ◆ 参加 費: 受講料無料!
- ◆ 締 切: 各講座開催日の3日前
- ◆ 場 所: 九州英数学館国際言語学院

以下は予定ですので講師、テーマは変更することがあります。

①11月8日(金)14:00～16:10
福岡の日本語教室の状況について
高取校区国際交流推進委員会 会長 田中秀次氏

②11月15日(金)14:00～16:10
東南アジア、主にASEAN地域の文化紹介
PTネティカインドネシア 取締役 シボロ・アーノルド氏

③11月22日(金)14:00～16:10
東南アジアの教育、生活、ビジネス事情
PTネティカインドネシア 代表取締役、アセアン・プラス株式会社 代表取締役 小玉修市氏

④11月29日(金)14:00～16:10
地域に根差した国際交流について
桑野外科医院 院長 桑野建治氏

⑤12月6日(金)14:00～16:10
外国における日本語教育について
九州英数学館国際言語学院 副校長 千東振氏

⑥12月13日(金)14:00～16:10
東南アジアにおける日本語教育について
財団法人日本語教育振興協会 評議員 柴田俊造氏

⑦12月20日(金)14:00～16:10
日本とベトナムの関係、ベトナムという国について
九州英数学館国際言語学院 非常勤講師 松尾順子氏

⑧1月10日(金)14:00～16:10
外国人の異文化理解教育の課題について
九州大学留学生センター 准教授 白土信氏

⑨1月17日(金)14:00～16:10
ベトナム語の歴史・ベトナム語の特徴
九州英数学館国際言語学院 非常勤講師 松尾順子氏

⑩1月24日(金)14:00～16:10
ボランティア日本語教育についてのありかた
小さな国際交流の会 代表 野口照代氏

九州英数学館国際言語学院 担当:大橋

福岡県福岡市中央区舞鶴1丁目5-30
TEL: 092-713-5720 FAX: 092-713-5718
E-mail: info@kyushu-etsu.ac.jp

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラム(A)

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

◇平成25年11月8日<福岡の日本語教室の状況について>

講師 高取校区国際交流推進委員会 会長 田中秀次氏

- ・福岡市内の公民館において、生活者としての外国人に対する支援、日本語学習の最前線に関わっておられる講師により、その沿革や運営状況等についての紹介や工夫などについての講演があった。
- ・受講生も講師も無料で行われている教室の運営について参加者の興味も高く講演後には10近くの質問があり、講師の田中氏は、そのひとつひとつ丁寧に答えておられた。
- ・講演後のアンケートでは、回答総数15名中、8名が「満足した」、4名が「まあまあ満足した」と回答。7名が「役に立つと思う」、3名が「まあまあ役に立つと思う」と回答している。



◇平成25年12月13日＜東南アジアにおける日本語教室について＞

講師 財団法人日本語教育振興会 評議員 柴田俊造 氏

- ・財団法人国際学友会日本語学校の講師として赴任された、カンボジアやインドネシアでの経験、その他中国やスリランカなど、多くの国の大学にて日本語教育を実践されてきた経験をお話いただいた。
- ・日本語教育の創成期に立ち会われたご経験から、西欧諸国の語学教育を日本語教育に取り入れていった課程など、大変貴重な講演をいただいた。
- ・最後には、「理想的な日本語教師像」という内容で、日本語教師としてあるべき姿についてもご教授いただいた。
- ・講演後のアンケートでは、回答総数9名中、2名が「満足した」、3名が「まあまあ満足した」と回答。2名が「役に立つと思う」、4名が「まあまあ役に立つと思う」と回答。



(10) 目標の達成状況・成果

長く日本語教育に尽力されてこられた方以外にも、日頃、日本語教育の世界だけでは関わることのない方々の興味深い講演を実施することができ、参加者の満足度も高かった。今回の事業においては、福岡に入国する非漢字語圏の外国人への支援を特に中心に据えていたため、その実情を身を持って感じている日本語教育現場からの参加者がほとんどであり、多くの方々から高い評価をいただいた。目標の達成状況・成果確認のため毎回実施したアンケートにおいても、東南アジアの文化や歴史、日本語教育事情を知ることができただけでなく、その現場を実際に体験してきた講師陣の話に良い刺激を受け、今後の活動への意欲が高まったといった意見を多くいただいております、ある程度の成果をあげることができたと感じている。

(11) 改善点について

初めての事業参加ということもあり、全て講演によるものとなったが、今後は参加者同士のディスカッションを組み合わせる等、成果が実感しやすい形も検討したい。質の高い内容を追及したため、講演予定者のスケジュール調整が難しく幾度かの講師変更をすることとなった。結果としては、より幅広い業態からの協力を得ることができたが、事前準備について反省すべき点となっている。また、広報段階において、事業内容に拘るあまり狭い分野への広報に限られたことが残念である。こちらも結果的には予想を上回る参加をいただいたが、講演の価値を考えれば、日本語教育界に留まらず、より多くの方々に向けて広報展開するべきであったと感じている。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

東南アジア等非漢字語圏の外国人などを対象にした、日本での社会生活がスムーズに送れることを目的とした日本語教材

(2) 対象 東南アジア等非漢字語圏の外国人など

(3) 目的・目標

漢字の苦手な東南アジア等非漢字語圏の外国人などが理解しやすく書かれた教材の作成

(4) 構成・総ページ数 第1課～第20課・全100ページ

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年8月 21日 13:30～16:30	3時間	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 中村登、大橋時世、大 楠祐子、坂本孝子	事業概要、教材開発の意義についての確認。教材内容の概略について。	教材作成スケジュール、「カリキュラム案」「教材例集」について共有、実習内容・訪問施設等の検討。
2	平成25年8月 22日 13:30～16:30	3時間	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。教材使用授業の日程及び課目について。	日本語教室の講義日程及び担当講師の決定。テキスト課目の具体的内容及び実習のタイミングについて討議。

3	平成25年8月 23日 13:30～16:30	3時間	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。 テキスト課目の決定。	テキストの全20課目が決定。各課目のボリューム、 文字の大きさやレイアウトについて討議。
4	平成25年8月 28日 13:30～16:30	3時間	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。 テキストレイアウト決定。作成日程、漢字学習の 手法について。	1課分をA4用紙4枚、構成についても決定。作成の スケジュールの決定。漢字学習について別冊テキ ストを検討。
5	平成25年9月4 日 13:30～16:00	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。 第1課、別冊漢字 教材について。	第1課内容の確定、福岡の方言・文化について盛 込む内容を討議。漢字教材は象形文字等を紹介し ながら構成していくことに。
6	平成25年9月 18日 13:30～16:00	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。 第2～4課の内容、 漢字教材について。	第3課「ゴミを捨てる」では、実際の分別方法を教える。 語尾の特徴を練習問題で教える。
7	平成25年9月 25日 13:30～16:00	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。 第5～7課の内容、 漢字教材について。	第5～7課のテキスト内容決定。これまでの教材開 発会議での決定事項・検討事項について第1回運 営委員会にて承認をもらうため、提出内容のとりま とめ。
8	平成25年10月 2日 13:30～16:00	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。 第8～10課の内 容。第1～7課の見直し。漢字教材 について。	第1回運営委員会の内容をフィードバック。第8～10 課の内容を決定するとともに、第1～7課の内容を 見直し。運営委員会の意見を反映させる。
9	平成25年10月 16日 16:20～18:50	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材の具体的内容。 第11～13課の内 容検討。	第11～13課の内容の決定。「第11課 電話のかけ 方」では敬語の練習、使役形の用法について盛込 む。
10	平成25年10月 23日 16:20～18:50	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子	事業概要確認。教材内容の具体的内容。 第14～16課の 内容検討。第8～13課の見直し。	第14～16課の内容決定。第2回運営委員会からの 助言・指摘事項に基づき第8～13課の内容を是正。
11	平成25年10月 30日 16:20～18:50	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材内容の具体的内容。 第17～18課の 内容検討。	第17～18課の内容決定。冠婚葬祭における一般的 なマナーと現状について配慮。漢字学習の指導方 法について意見交換。
12	平成25年11月 6日 16:20～18:50	2時間30分	九州英数学館	松尾順子、田中旬一、 大橋時世、大楠祐子、 坂本孝子	事業概要確認。教材内容の具体的内容。 第19～20課の 内容検討。	第19～20課の内容決定。今後追加すべき事項(外 国語ルビ等)について検討。

(6) 使い方 本事業日本語教室のテキストとして使用

(7) 具体的な活用例

今後、特に東南アジア等非漢字語圏の外国人を対象とした日本語教育クラスにて使用するとともに、本事業に御協力いただいた諸団体において広く活用していただく。

(8) 成果物の添付 別途添付します。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

九州はアジアの玄関口として、アジア諸国からの外国人の来日が増加している。昨今、特に東南アジアから来日し定住する外国人が目立つ。そこで当事業によって、東南アジア等非漢字語圏から来日した生活者が、日本での社会生活をスムーズに送れるように支援するのが当事業の目的である。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

日本語教室については、10か国もの国籍の方々に参加いただいた。その内の半数以上の方が非漢字語圏の外国人であり、今回の事業目的に準じた運営を行うことができたと思う。受講生のアンケート結果はもとより、漢字語圏、非漢字語圏の受講生が共に学び交流を深める機会を創れたことに対し事業所、受講生ともに満足感・達成感を強く感じている。また事業所としては、多国籍で日本語の習熟度にも差がある受講生が混在するクラスを運営するうえで、回を重ねるごとに工夫を凝らし受講生のことを第一に考え苦心をしたことは、大変貴重な経験となった。

日本語教育の人材養成においては、多方面の専門家の方々の惜しみない協賛をいただき今までにない貴重な講演をご提供できた。運営委員としてご協力いただいた方々も含め、幅広い団体・個人との新たなご縁を結ぶことができ、今後の外国人支援事業への大きな財産を得た思いである。入国する外国人がますます多様化している福岡に位置する当事業所としても、非漢字語圏の外国人の方々の日本語学習を支援するための教材作成の必要性を痛感しており、そのお手伝いできたことを嬉しく思っている。作成した日本語教材については、まだまだ改善の余地があると考えており、今回の事業全体で経験したこと、ご縁をいただいた方々との関係をより深め、改良を重ねていきたいと考えている。

試行錯誤ではあったが、事業全体を通して大きなトラブルも無くご参加いただいた皆様からも概ね満足いただけたものと思う。(末尾にてアンケート集計結果を添付。)

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的なカリキュラム案の「生活上の行為の事例」を参考に福岡の地域性に合った形で課目を決定した。また、テキスト、講義の構成についても、「学習項目の要素」を軸に行った。国籍や日本語習熟度についての制限を設けずに受講生を募ったため、実際の講義では、テキストに沿いながらも臨機応変な対応が必要となり時間配分に苦労した。しかし、テキストの内容としては、受講後の生活においても活用できるような項目を網羅しておくことは重要であると感じた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

財団法人日本語教育振興協会の柴田俊造氏をはじめとする運営委員に方々には、広報活動・教材作成・講義内容等につき多大なるご支援をいただくとともに、多くの貴重なご意見を頂戴した。また、今回の事業に伴い、従来から連携のある福岡・太宰府の国際交流協会のみならず県内各地域の日本語教室やボランティア団体、校区国際交流推進委員会などとの繋がりを深めることができ、来年度以降の活動について今までにない新たな指針を得るに至った。

(5) 改善点、今後の課題について

日本語教室、人材養成ともに共通して対象者の設定が絞り込まれておらず、広報方法・内容も少し中途半端なものになったことが反省点である。申込み後に、思ったものとは内容、レベルなどに違いを感じた方もいらついったようである。広報の段階で、より具体的に事業の趣旨、講座の内容を周知するべきであった。また、企画から事業開始までに時間が少なく事務局の体制としても十分でなかったため、受講生の出席の管理等において後手に回ってしまった部分もあった。また、運営委員の方からは、行政としても「生活者としての外国人」の実態を調査したようなデータがほとんど存在しないため、プライバシーの問題に配慮しつつ、福岡で生活する外国人の方々の実態がより捉えられるような面談やアンケートを検討してはどうか、というご意見も頂いており、今後の事業では組み込んでいきたいと考えている。

受講生へのアンケート

お忙しい中恐縮ですがアンケートにご協力くださいませ。

氏名 _____

講師名 _____

[1] クラスでのべんきょうはどうでしたか？

よかった まあまあよかった ふつう あまりよくなかった よくなかった

その他 (_____)

[2] クラスの内容はわかりましたか？

わかった まあまあわかった ふつう あまりわからなかった わからなかった

その他 (_____)

[3] このクラスは日本の生活に役(やく)に立(た)ちますか？

役に立つ まあまあ役に立つ ふつう あまり役に立たない 役に立たない

その他 (_____)

[4] 漢字のべんきょうはどうでしたか？(漢字圏の方はアシスタントとして)

よかった まあまあよかった ふつう あまりよくなかった よくなかった

その他 (_____)

[5] クラスを終わっての感想

(_____)

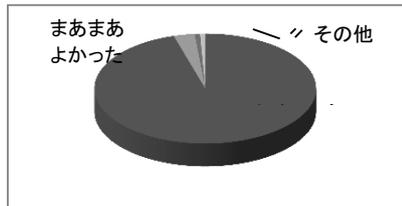
[6] 質問等があったら書いてください

日本語教室 アンケート結果

(第1回～第25回合計)

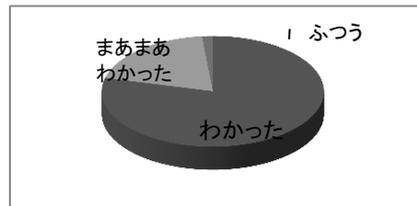
[1]クラスでのべんきょうはどうでしたか？

よかった	124 人
まあまあよかった	4 人
ふつう	1 人
あまりよくなかった	0 人
よくなかった	0 人
その他	1 人



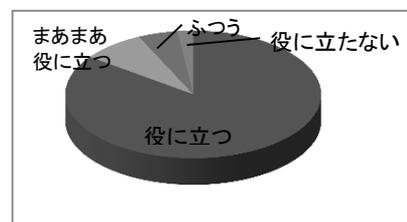
[2]クラスの内容はわかりましたか？

わかった	101 人
まあまあわかった	25 人
ふつう	2 人
あまりわからなかった	0 人
わからなかった	0 人
その他	0 人



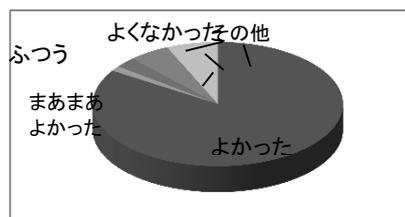
[3]このクラスは日本の生活に役に立ちますか？

役に立つ	85 人
まあまあ役に立つ	8 人
ふつう	5 人
あまり役に立たない	0 人
役に立たない	2 人
その他	0 人



[4]漢字のべんきょうはどうでしたか？

よかった	63 人
まあまあよかった	1 人
ふつう	2 人
あまりよくなかった	0 人
よくなかった	4 人
その他	5 人



[5]クラスを終わっての感想

- ・防災センターへ初めて行った。良い体験して良かった。
- ・郵便局へ行って色々な質問して勉強になった。
- ・生活に役に立ちます。
- ・楽しかったです。
- ・嬉しいです。
- ・良かったです。

[6]受講生からの質問等

文化庁委託事業「平成25年度生活者としての外国人のための日本語教育事業」
日本語教育を行う人材の養成・研修 受講生へのアンケート

当調査は当事業の成果等を確認する目的で行い、それ以外では利用しません。アンケートにご協力をお願いいたします

日にち: _____ 月 _____ 日 _____ 所属 _____

男性 女性 _____ 国籍 _____

年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

該当項目にチェック☑してください。

[1] 今日の講義はいかがでしたか。

満足した まあまあ満足した 普通 あまり満足しなかった 満足しなかった

理由 (_____)

[2] 今日の講義の内容は分かりやすかったですか？

分かりやすかった まあまあ分かりやすかった 普通 ちょっと分かりにくかった

分かりにくかった

その他 (_____)

[3] 今日の講義の内容は今後の活動(日本語の教育等)に役に立つと思いますか？

役に立つと思う まあまあ役に立つと思う 普通 あまり役に立つと思わない

役に立つと思わない

その他 (_____)

[4] 今後外国人生活者関連の講義で実施してほしい内容は何ですか？(複数回答可)

外国人生活者への日本語教育全般 非漢字語圏の外国人への漢字教育について

外国人生活者関連の就職活動基礎知識 就労ビザ・法務知識 面接・ビジネスマナー

欧米諸国における日本語教育 東南アジアにおける日本語教育

中近東諸国における日本語教育

その他

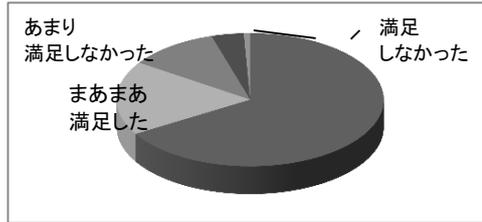
[5] 当講義のご感想やご要望などをご記入ください。

日本語教育を行う人材の養成・研修 受講生アンケート結果

第1回～第10回合計

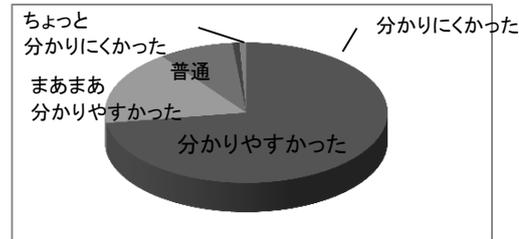
[1]今日の講義は、いかがでしたか？

満足した	85 人
まあまあ満足した	23 人
普通	14 人
あまり満足しなかった	5 人
満足しなかった	1 人



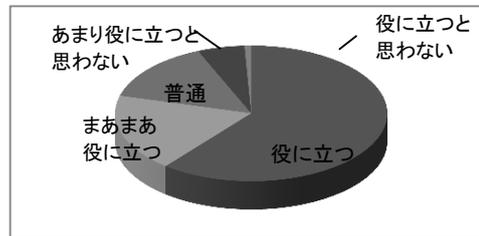
[2]今日の講義は分かりやすかったですか？

分かりやすかった	93 人
まあまあ分かりやすかった	22 人
普通	11 人
ちょっと分かりにくかった	1 人
分かりにくかった	1 人
その他	0 人



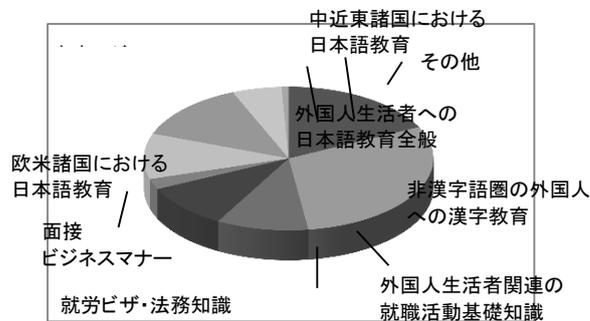
[3]今日の講義の内容は、今後の活動(日本語の教育等)に役に立つと思いますか？

役に立つと思う	76 人
まあまあ役に立つと思う	23 人
普通	18 人
あまり役に立つと思わない	7 人
役に立つと思わない	1 人
その他	0 人



[4]今後外国人生活者関連の講義で実施してほしい内容は何ですか？(複数回答可)

外国人生活者への日本語教育全般	45 人
非漢字語圏の外国人への漢字教育について	76 人
外国人生活者関連の就職活動基礎知識	26 人
就労ビザ・法務知識	25 人
面接・ビジネスマナー	6 人
欧米諸国における日本語教育	26 人
東南アジアにおける日本語教育	33 人
中近東諸国における日本語教育	14 人
その他	2 人



[5]当講座のご感想やご要望などをお書きください

- ・今後、ベトナム、ネパールの非漢字語圏からの留学生が増えると思うので漢字教育に関する研修を是非お願いしたい。
- ・今後のボランティア活動に役立てたいです。
- ・全く学んだことがない言語をゼロから学習する学習者の大変さ、むずかしさを久しぶりに体感出来ました。学習者の立場(視点)を忘れないよう、これからの日本語教育に活かして行きたいです。
- ・心理学的な面でのお話、コミュニケーション部分についてとても分かりやすく、勉強になった。今後活用したい。
- ・結論！ボランティアとしての日本語教育のあり方→支援なんだ。日本語の特徴→拍なんだ。高低アクセント、正しい発音→支援につながる。